

宮沢賢治  
生誕120年

# 『賢治が魅せられた石たち』

2017年

会期:11月3日(木)～11月29日(火)

1896年に岩手県の花巻で生まれた宮沢賢治は、日本を代表する詩人・童話作家であり、37才という短い生涯の中で、文学史に残る珠玉の作品をいくつも残しました。彼は「石っこ賢さん」とあだ名されたほど、岩石や鉱物を好んだひとで、その作品中には多くの石たちが、色彩の比喩として、擬人化されたキャラクターとして、あるいは故郷の大地の象徴として、様々な場面で登場します。

宮沢賢治生誕120年に当たる本年、賢治の故郷・花巻市の友好都市として平塚市では「宮沢賢治生誕120年記念事業」を実施しています。平塚市博物館ではその一環として11月から2か月連続で宮沢賢治にまつわる展示を行います。11月は、『賢治が魅せられた石たち』と題し、宮沢賢治の作品や、彼自身に深い関わりをもつ岩石や鉱物、化石などを展示します。文学と科学の物言わぬ交わりを、どうぞご覧下さい。



黄銅鉱を伴う水晶(石英) [ルーマニア産]

……底びかりする水晶天の

一ひら<sup>ひら</sup>白い裂罅のあと……

(『春と修羅 第二集』「異途への出発」より)